平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名　ライオン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4912　URL　http://www.lion.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 濱　逸夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 鎌尾　義明　TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日　平成25年5月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	71,618	6.0	△1,518	―	△1,148	―	△1,010	―
24年12月期第1四半期	67,575	2.8	△3,427	―	△3,203	―	△2,323	―

(注)包括利益　25年12月期第1四半期　4,074百万円　(130.1%)　24年12月期第1四半期　1,770百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	△3.76	―
24年12月期第1四半期	△8.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	256,654	116,512	43.3
24年12月期	257,595	114,163	42.4

(参考) 自己資本　25年12月期第1四半期　111,252百万円　24年12月期　109,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	162,000	1.3	2,500	11.1	3,000	6.0	1,600	37.8	5.96
通期	342,000	2.0	10,000	38.6	11,000	28.4	6,000	41.6	22.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	299,115,346 株	24年12月期	299,115,346 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	30,726,126 株	24年12月期	30,713,613 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	268,394,838 株	24年12月期1Q	268,494,021 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.6「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報……6
（３）連結業績予想に関する定性的情報……6

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項……7
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……7
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……7
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……7

３．四半期連結財務諸表……8
（１）四半期連結貸借対照表……8
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 10
（３）継続企業の前提に関する注記…… 12
（４）セグメント情報等…… 12
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期(平成25年１月１日～３月31日)のわが国経済は、消費者物価の緩やかな下落が続く中、個人消費が持ち直すとともに、企業収益に改善の動きが見られるなど、回復基調にありました。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界においては、店頭での激しい販売競争が続き、厳しい事業環境にありました。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画「Ｖ－１計画（Ｖｉｓｉｏｎ２０２０ Ｐａｒｔ－１）」の４つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しました。

国内事業では、主力の歯刷子、制汗剤、柔軟剤、点眼剤等で付加価値の高い新製品を発売し育成を進めるとともに、販売促進費の効率化等により収益性の改善を図りました。また、機能性食品等（通信販売商品）においては、広告宣伝を増強し、引き続き事業規模の拡大に努めました。

海外事業では、タイを中心にオーラルケア、洗濯用洗剤等の主要分野において重点ブランドの育成を進めました。

以上の結果、当第１四半期の連結売上高は７１６億１千８百万円（前年同期比６．０％増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比は１．７％増）となりました。損益は、１５億１千８百万円の営業損失（前年同期は３４億２千７百万円の営業損失)、１１億４千８百万円の経常損失（同３２億３百万円の経常損失)、１０億１千万円の四半期純損失（同２３億２千３百万円の四半期純損失）となりました。

【連結業績の概況】 （単位：百万円）

	当第１四半期	売上比	前第１四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	71,618		67,575		4,042	6.0%
営業利益	△1,518	－	△3,427	－	1,908	－
経常利益	△1,148	－	△3,203	－	2,054	－
四半期純利益	△1,010	－	△2,323	－	1,313	－

【セグメント別業績】 （単位：百万円）

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第１四半期	前第１四半期	増減額	増減率	当第１四半期	前第１四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	51,566	51,482	83	0.2%	△2,253	△4,169	1,915	—
産業用品事業	11,092	11,371	△278	△2.5%	50	△39	90	—
海外事業	18,578	14,049	4,529	32.2%	430	628	△198	△31.6%
その他	5,555	6,333	△778	△12.3%	108	195	△87	△44.5%
小計	86,792	83,237	3,555	4.3%	△1,664	△3,384	1,720	—
調整額	△15,174	△15,661	487	—	145	△42	188	—
合計	71,618	67,575	4,042	6.0%	△1,518	△3,427	1,908	—

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

＜一般用消費財事業＞

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比８千３百万円の増加となりました。セグメント利益は、販売促進費の効率化等により競争費用が減少し、前年同期比１９億１千５百万円の増加となりました。

（単位：百万円）

	当第１四半期	売上比	前第１四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	51,566		51,482		83	0.2%
セグメント利益	△2,253	―	△4,169	―	1,915	―

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第１四半期では5,158百万円、前第１四半期では5,378百万円となっております。

[売上高の分野別状況]　（単位：百万円）

	当第１四半期	前第１四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	9,489	9,732	△243	△2.5%
ビューティケア分野	4,329	4,636	△306	△6.6%
ファブリックケア分野	15,984	14,958	1,026	6.9%
リビングケア分野	3,790	4,100	△309	△7.6%
薬品分野	5,821	6,273	△451	△7.2%
その他の分野	12,150	11,782	368	3.1%

（オーラルケア分野）

歯磨は、昨年秋に発売した「デンターシステマ しみるケア ハミガキ」がお客様のご好評を得るなど主力の「デンターシステマ」が好調に推移しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

歯刷子は、主力の「デンターシステマ」が堅調に推移するとともに、極薄ヘッドと極細ネックで奥歯の奥までブラシが届いてしっかり磨ける新製品「クリニカ アドバンテージハブラシ」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を上回りました。

口中剤は、「クリニカ デンタルリンス」が伸びなやみましたが、「デンターシステマ EX（イーエックス） デンタルリンス」が好調に推移し、全体の売上は前年同期比微増となりました。

（ビューティケア分野）

ハンドソープは、改良発売した「キレイキレイ 薬用泡ハンドソープ」が好調に推移しましたが、液体タイプが伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

制汗剤は、独自のマイクロパウダー配合でサラサラ感が持続する、ミスト状で出るウォータータイプの新製品「Ban（バン）シャワーデオドラント」がお客様のご好評を得ましたが、主力のパウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

（ファブリックケア分野）

洗濯用洗剤は、粉末洗剤が市場規模縮小の影響を受けましたが、洗浄力を高めて改良発売した「トップ ＮＡＮＯＸ（ナノックス）」、洗うたび衣類の抗菌力が高まる「トップ ＨＹＧＩＡ（ハイジア）」などの超コンパクト洗濯用液体洗剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

柔軟剤は、ベリー系スイーツの甘い香りの新製品“アニー”を加えた「香りとデオドラントのソフランアロマリッチ」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

（リビングケア分野）

台所用洗剤は、「CHARMY（チャーミー） 泡のチカラ」シリーズが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

住居用洗剤は、「トイレのルック」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

調理関連品は、「リード ヘルシークッキング ペーパー」が好調に推移し、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

（薬品分野）

解熱鎮痛薬は、主力の「バファリンＡ」が堅調に推移しましたが、「バファリンルナ ｉ（アイ）」が競争激化の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

栄養ドリンク剤は、「グロンサン」、「新グロモント」が市場規模縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、年齢や目の酷使によるつらい眼疲労・目やになどによる目のかすみに優れた効果を発揮する新製品「スマイル４０ プレミアム」、清涼感をおさえたマイルドなさし心地の新製品「スマイル４０ Ｅ Ｘ（イーエックス） ゴールドマイルド」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

（その他の分野）

機能性食品等は、主力の「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ペットキレイ ニオイをとる砂」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

＜産業用品事業＞

当事業では、油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤等を取り扱っており、全体の売上高は、前年同期比２億７千８百万円の減少となりました。セグメント利益は、収益性の高い製品が伸長し前年同期比９千万円の増加となりました。

（単位：百万円）

	当第１四半期	売上比	前第１四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	11,092		11,371		△278	△2.5%
セグメント利益	50	0.5%	△39	―	90	―

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第１四半期では4,253百万円、前第１四半期では4,369百万円となっております。

油脂活性剤は、洗剤等の原料や地盤改良剤等の土木建築用途が順調に推移しましたが、その他の用途が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

導電性カーボンは、海外向けが好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

業務用洗浄剤は、ハンドソープが順調に推移するとともに、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、韓国、中国等において事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比３２．２％の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比は１０．９％の増加）となりました。セグメント利益は、市場地位向上に向けて競争費用を増加させたため前年同期比３１．６％の減少となりました。

（単位：百万円）

	当第１四半期	売上比	前第１四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	18,578		14,049		4,529	32.2%
セグメント利益	430	2.3%	628	4.5%	△198	△31.6%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第１四半期では929百万円、前第１四半期では677百万円となっております。

（主要国の状況）

タイでは、洗濯用洗剤「パオ」が堅調に推移するとともに、「システマ」歯刷子が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回り、円貨換算でも大幅に上回りました。

韓国では、洗濯用洗剤の液体「ビート」、ハンドソープ「キレイキレイ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回り、円貨換算では大幅に上回りました。

中国では、「システマ」歯刷子が順調に推移しましたが、携帯用歯磨セット等の輸出が減少し、全体の売上は前年同期を下回りました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算ではかなり上回りました。

＜その他＞

（単位：百万円）

	当第１四半期	売上比	前第１四半期	売上比	増減額	増減率
売　上　高	5,555		6,333		△778	△12.3%
セグメント利益	108	2.0%	195	3.1%	△87	△44.5%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第１四半期では4,833百万円、前第１四半期では5,236百万円となっております。

その他では、建設請負事業が伸びなやみ、全体の売上高は、５５億５千５百万円（前年同期比１２．３％減)、セグメント利益は、１億８百万円（前年同期比４４．５％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期における資産、負債および純資産の状況

（連結財政状態）

	当第１四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	256,654	257,595	△940
純資産（百万円）	116,512	114,163	2,348
自己資本比率※1（％）	43.3	42.4	0.9

※1： 自己資本比率は、(純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して９億４千万円減少し、２,５６６億５千４百万円となりました。純資産は、２３億４千８百万円増加し、１,１６５億１千２百万円となり、自己資本比率は４３．３％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月12日に公表いたしました第２四半期累計期間および通期の連結業績予想については変更しておりません。

わが国経済は、個人消費や企業収益等の改善が見込まれる一方、欧州の債務問題等の世界経済の動向が引き続き懸念される中、先行き不透明な状況が続くものと想定されます。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界では、店頭における激しい販売競争が続くものと予想されますが、引き続き重点ブランドの育成に取り組むとともに、トータルコストダウンならびに競争費用の効率化を進め、収益性の向上を目指してまいります。

（当期業績予想値算出の前提条件）

主要な為替レートは、８５円／米ドル、２．７円／バーツとしています。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,149	28,509
受取手形及び売掛金	51,218	43,221
有価証券	16,358	8,997
商品及び製品	20,383	23,602
仕掛品	3,496	3,930
原材料及び貯蔵品	7,954	7,678
その他	5,527	7,100
貸倒引当金	△41	△44
流動資産合計	131,047	122,996
固定資産		
有形固定資産	61,955	64,414
無形固定資産		
商標権	15,301	14,369
その他	2,453	2,352
無形固定資産合計	17,754	16,722
投資その他の資産		
投資有価証券	28,564	33,761
その他	18,312	18,798
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	46,837	52,521
固定資産合計	126,547	133,658
資産合計	257,595	256,654
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,530	40,768
短期借入金	5,943	6,093
1年内返済予定の長期借入金	2,416	2,416
未払金及び未払費用	39,650	36,244
未払法人税等	1,532	917
賞与引当金	1,928	1,512
返品調整引当金	664	663
販売促進引当金	408	597
役員賞与引当金	147	53
その他	2,920	3,041
流動負債合計	96,142	92,309
固定負債		
長期借入金	22,670	21,491
退職給付引当金	19,231	19,333
役員退職慰労引当金	331	367
資産除去債務	324	334
その他	4,731	6,305
固定負債合計	47,288	47,832
負債合計	143,431	140,142

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,499	31,499
利益剰余金	57,996	55,644
自己株式	△16,656	△16,662
株主資本合計	107,273	104,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,688	6,570
繰延ヘッジ損益	6	△0
為替換算調整勘定	△1,708	△233
その他の包括利益累計額合計	1,987	6,337
新株予約権	129	144
少数株主持分	4,772	5,115
純資産合計	114,163	116,512
負債純資産合計	257,595	256,654

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年３月31日）
売上高	67,575	71,618
売上原価	30,194	31,956
売上総利益	37,380	39,661
販売費及び一般管理費	40,808	41,180
営業損失（△）	△3,427	△1,518
営業外収益		
受取利息	36	49
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	197	244
受取ロイヤリティー	45	58
為替差益	50	123
その他	87	86
営業外収益合計	423	566
営業外費用		
支払利息	178	167
その他	20	30
営業外費用合計	199	197
経常損失（△）	△3,203	△1,148
特別利益		
固定資産処分益	－	38
投資有価証券売却益	－	7
特別利益合計	－	46
特別損失		
固定資産処分損	17	26
減損損失	70	18
特別損失合計	88	44
税金等調整前四半期純損失（△）	△3,291	△1,146
法人税、住民税及び事業税	514	461
法人税等調整額	△1,704	△805
法人税等合計	△1,189	△344
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△2,102	△802
少数株主利益	220	207
四半期純損失（△）	△2,323	△1,010

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△2,102	△802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,580	2,863
繰延ヘッジ損益	37	△7
為替換算調整勘定	1,079	1,795
持分法適用会社に対する持分相当額	174	224
その他の包括利益合計	3,872	4,876
四半期包括利益	1,770	4,074
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,239	3,339
少数株主に係る四半期包括利益	531	734

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成 24 年１月１日　至　平成 24 年３月 31 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	一般用消費財事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	46,104	7,002	13,371	1,096	67,575	―	67,575
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高(注)1	5,378	4,369	677	5,236	15,661	△15,661	―
計	51,482	11,371	14,049	6,333	83,237	△15,661	67,575
セグメント利益又は損失(△)	△4,169	△39	628	195	△3,384	△42	△3,427

（注）1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△42 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成 25 年１月１日　至　平成 25 年３月 31 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	一般用消費財事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	46,407	6,839	17,649	722	71,618	―	71,618
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高(注)1	5,158	4,253	929	4,833	15,174	△15,174	―
計	51,566	11,092	18,578	5,555	86,792	△15,174	71,618
セグメント利益又は損失(△)	△2,253	50	430	108	△1,664	145	△1,518

（注）1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額 145 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。